

## 第29回 中央防災会議 議事要旨

(開催要領)

1 開催日時： 平成23年12月27日(火) 8:20~8:46

2 場所： 官邸4階大会議室

3 出席委員：

会長	野田 佳彦	内閣総理大臣
委員	平野 達男	内閣府特命担当大臣(防災)
同	藤村 修	内閣官房長官
同	川端 達夫	総務大臣・内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策、地域主権)
同	平岡 秀夫	法務大臣
同	玄葉光一郎	外務大臣
同	安住 淳	財務大臣
	(代理： 五十嵐 文彦 財務副大臣)	
同	中川 正春	文部科学大臣
同	小宮山洋子	厚生労働大臣
同	鹿野 道彦	農林水産大臣
同	枝野 幸男	経済産業大臣
同	前田 武志	国土交通大臣
同	細野 豪志	環境大臣
同	一川 保夫	防衛大臣
同	山岡 賢次	国家公安委員会委員長
同	自見庄三郎	内閣府特命担当大臣(金融)
同	古川 元久	内閣府特命担当大臣(経済財政政策、科学技術政策)
同	蓮 舫	内閣府特命担当大臣 (行政刷新、「新しい公共」、少子化対策、男女共同参画)
同	白川 方明	日本銀行総裁
同	近衛 忠輝	日本赤十字社社長
同	松本 正之	日本放送協会会長
同	三浦 愷	日本電信電話株式会社社長
同	阿部 勝征	東京大学名誉教授
同	田村 圭子	新潟大学教授
同	泉田 裕彦	全国知事会災害対策特別委員長(新潟県知事)
同	渡邊 茂治	日本消防協会理事

(議事次第)

- 1 開 会
- 2 会長発言 (内閣総理大臣)
- 3 議 題
  - (1) 決定事項
    - ・防災基本計画の修正について
    - ・中央防災会議運営要領の改正について
  - (2) 承認事項
    - ・会長専決事項の処理について
  - (3) 報告事項
    - ・災害教訓の継承に関する専門調査会報告について
    - ・防災対策推進検討会議の検討状況について
- 4 閉 会

(配布資料)

- 資料1-1 防災基本計画修正のポイント (案)
- 資料1-2 防災基本計画 第3編 (新設) 「津波災害対策編」要旨 (案)
- 資料1-3 防災基本計画 新旧対照表
- 資料2 中央防災会議運営要領の改正について
- 資料3 会長専決事項の処理について
- 資料4 災害教訓の継承に関する専門調査会報告 (概要)
- 資料5 防災対策推進検討会議の検討状況について
- 資料5-参考1 東日本大震災における災害応急対策等について
- 資料5-参考2 全国防災対策費についての考え方
- 資料5-参考3 災害対策法制の見直しに関する論点

(会議概要)

- 1 開 会  
冒頭、平野防災担当大臣より、開会の挨拶。
- 2 会長発言 (内閣総理大臣)  
野田内閣総理大臣から、お悔やみとお見舞いの言葉があった。加えて、想定した以上の災害が起こりうるという前提に立って、如何に備えるかが重要であり、しっかり議論し防災対策を着実に推進するようお願いする旨発言があった。
- 3 議 題
  - 郡内閣府大臣政務官から、(1) 決定事項「防災基本計画の修正について」から(3) 報告事項「防災対策推進検討会議の検討状況について」まで、資料1-1から資料5

に基づき、説明があった。

- 意見交換では、以下の発言があった。
  - ・自見委員（内閣府特命担当大臣（金融））より、中央防災会議運営要領の改正について、災害時において会長専決により迅速に決定を行うことについて、国民の利益にかなっているのではないかという旨の発言があった。
  - ・渡邊委員より、今回の災害で多くの消防団員が殉職したが、消防団は大災害ほど地域の最前線の消防機関として重要な役割を果たすことから、消防団の装備の改善等について配慮してほしい旨発言があった。これを受け、川端委員（総務大臣）より、第三次補正予算で安全対策設備を手当てするとともに、消防団の活動にあり方について検討を進めており、平成24年3月末までに消防団員の活動の安全確保策について方向性を示すとともに、消防団の装備の充実、団員の処遇改善などについても、平成24年夏を目途に最終報告をとりまとめ、消防団の充実・強化を図りたい旨発言があった。
  - ・前田委員（国土交通大臣）より、災害の歴史の検証が非常に重要である旨発言があり、それを受けて、自見委員（内閣府特命担当大臣（金融））より、災害の歴史が国民に届くよう最大限努力する必要がある旨発言があった。
  - ・泉田委員より、防災基本計画において、複合災害への対応についてお願いしたい旨発言があり、平野委員（内閣府特命担当大臣（防災））より、複合災害については、順次検討する旨発言があった。
  - ・平岡委員（法務大臣）より、通信手段の確保について重要であると考えているが、どのような対応をするのか質問があった。この発言を受け、三浦委員より、1つは、災害に強いネットワークにする必要がある、多ルート化や衛星の活用等を進めること、もう1つはきちんと音声が届くような新しいサービスを開発するため、設備面・サービス面から検討・開発を進めている旨発言があった。
- 以上の説明・意見交換の後、議題（1）の防災基本計画の修正及び中央防災会議運営要領の改正について、原案のとおり決定された。
- 藤村委員（内閣官房長官）より、今後起こり得る大規模災害などに対応するため、引き続き防災対策の見直しが必要であり、防災対策推進検討会議において議論を進めていく旨発言があった。
- 最後に、野田会長（内閣総理大臣）より、防災基本計画の修正を踏まえ、防災担当大臣を中心に各省庁が連携をして、引き続き防災対策を着実に推進するとともに、さらなる防災対策の充実・強化に向けて、防災対策推進検討会議が中心となって議論を進めていくようお願いする旨発言があった。

（以 上）